

チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統とチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON88017 系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ *B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7* 系統とアリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ 40278 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に安全性審査を経た旨の公表を行った品種*を除く。）に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えトウモロコシ「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統とチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON88017 系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ *B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7* 系統とアリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ 40278 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に安全性審査を経た旨の公表を行った品種*を除く。）」については平成 24 年 11 月 2 日付けで遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

本品種は別紙の表の遺伝子組換えトウモロコシを伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

3. 利用目的及び利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来のトウモロコシと相違はない。

* 既に安全性審査を経た旨の公表を行った品種

- ・トウモロコシ 1507 系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ *B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7* 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON88017 系統とを掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統とトウモロコシ 1507 系統とを掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ *B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7* 系統とを掛け合わせた品種
- ・トウモロコシ 1507 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性ト

ウモロコシ MON88017 系統とを掛け合わせた品種

- ・ コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性 トウモロコシ *B.t.* Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON88017 系統とを掛け合わせた品種
- ・ チョウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON89034 系統と トウモロコシ 1507 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON88017 系統とを掛け合わせた品種
- ・ チョウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON89034 系統と トウモロコシ 1507 系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性 トウモロコシ *B.t.* Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 系統とを掛け合わせた品種
- ・ チョウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON89034 系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性 トウモロコシ *B.t.* Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON88017 系統とを掛け合わせた品種
- ・ トウモロコシ 1507 系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性 トウモロコシ *B.t.* Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON88017 系統とを掛け合わせた品種
- ・ チョウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON89034 系統と トウモロコシ 1507 系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性 トウモロコシ *B.t.* Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性 トウモロコシ MON88017 系統とを掛け合わせた品種

概要					
項目	チョウウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統	チョウウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統	除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON88017 系統	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 系統	アシルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ 40278 系統
製品の概要	<i>cry1A..105</i> 遺伝子及び改変 <i>cry2Ab2</i> 遺伝子の導入によって <i>Cry1A..105</i> タンパク質及び改変 <i>Cry2Ab2</i> タンパク質が発現し、チョウウ目害虫 (フォールアーマーミーム等) に抵抗性を示す。	改変 <i>cry1F</i> 遺伝子の導入によって改変 <i>Cry1F</i> タンパク質が発現し、チョウウ目害虫 (ヨロロツパアワノメイガ等) 抵抗性を示す。また、 <i>pat</i> 遺伝子の導入によって <i>PAT</i> タンパク質が発現し、除草剤グルホシネート耐性を示す。	改変 <i>cry3Bb1</i> 遺伝子の導入によって <i>Cry3Bb1</i> タンパク質が発現し、コウチュウ目害虫 (ウエスタンコンーンルートルーム等) 抵抗性を示す。また、改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子の導入によって改変 <i>CP4 EPSPS</i> タンパク質が発現し、除草剤グリホサート耐性を示す。	<i>cry34Ab1</i> 遺伝子及び <i>cry35Ab1</i> 遺伝子の導入によって、 <i>Cry34Ab1</i> タンパク質及び <i>Cry35Ab1</i> タンパク質が発現し、コウチュウ目害虫 (ウエスタンコンーンルートルーム等) 抵抗性を示す。また、 <i>pat</i> 遺伝子の導入によって <i>PAT</i> タンパク質が発現し、除草剤グルホシネート耐性を示す。	改変 <i>aad-1</i> 遺伝子の導入によって改変 <i>AAD-1</i> タンパク質が発現し、アシルオキシアルカノエート系除草剤耐性を示す。
宿主	ゼント種のトウモロコシ (<i>Zea mays</i> L.)				
挿入遺伝子 (供与体)	<i>cry1A..105</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kurstaki</i> 及び <i>Bacillus thuringiensis</i> var. <i>aizawai</i> 由来) 改変 <i>cry2Ab2</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kurstaki</i> 由来)	改変 <i>cry1F</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> var. <i>aizawai</i> 由来) <i>pat</i> 遺伝子 (<i>Streptomyces viridochromogenes</i> 由来)	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子 (<i>Agrobacterium</i> sp. <i>CP4</i> 株 由来) 改変 <i>cry3Bb1</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> ssp. <i>kumamotoensis</i> 由来)	<i>cry34Ab1</i> 及び <i>cry35Ab1</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> PS149B1 株由来) <i>pat</i> 遺伝子 (<i>Streptomyces viridochromogenes</i> 由来)	改変 <i>aad-1</i> 遺伝子 (<i>Sphingobium herbicidovorans</i> MH 株)
選抜マーカー (供与体)	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない
新たに獲得された性質	チョウウ目害虫抵抗性	チョウウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性	アシルオキシアルカノエート系除草剤耐性
安全性審査を経た旨の公表 (官報告示日)	2007年11月6日	2002年7月8日	2005年10月25日	2005年10月25日	2012年5月30日